

市民の手づくりによる賑わいの創出 ～水郷ひた豆田地区(千年あかり)～

1 社会資本の概要

日田市は、古来より「水郷ひた」として知られ、また、交通の要衝でもありました。江戸時代にはその大半が天領として、九州の政治、経済、文化の中心地として繁栄しました。

天領町として発展した豆田町とその周辺は、伝統的な建物が群として良好に残っていることから、平成16年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

江戸期から大正期に建てられた居蔵造の町家を中心とした町並みが続き、長福寺本堂と、草野家住宅は、国の重要文化財に指定され、特徴ある歴史的景観を残しています。また、豆田地区の玄関口である筑後川支川花月川では、地域と協働による川づくりを実施しており、「水郷ひた」らしい景観・自然環境と調和した河川整備を実施しています。



花月川河川敷（千年あかりのメイン会場）



賑わいをみせる豆田地区

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

「千年あかり」は河川整備を契機に、平成17年より花月川河川敷を中心に開催している市民手づくりのイベントです。約3万本の竹灯籠が、花月川河川敷や伝統的な町並みが残る豆田地区を優しく照らし出し、今では多くの観光客が訪れる日田の風物詩として定着しています。開催にあたっては、市民やボランティアの他に、高校生、NPO、企業、地元建設業など多方面にわたる協力も得ながら、竹の伐採から灯籠作り、または当日の点火作業などが行われています。



市民ボランティアによる竹灯籠の制作

平成24年には花月川の氾濫により会場である河川敷周辺に甚大な被害が発生し開催が危ぶまれましたが、「早期復旧復興の願いを込めてみんなで灯そう光の輪」をテーマに、地域の方々の努力でなんとか開催することができました。今後も「千年あかり」を継続的に開催し持続的に発展させるためには、次の担い手を育てることが喫緊の課題であるため、平成26年より「高校生シンポジウム」を開催し、若い世代への心の伝承にも取り組んでいます。



約3万本の竹灯籠を並べるボランティア



大分県日田市
千年あかり実行委員会 / 日田市

3 活動の成果や波及効果等

10回目となった平成26年度の「千年あかり」は、14万5千人が訪れ、市民ボランティアなど約5千人に支えられています。

「千年あかり」の竹灯笼は、2千本から今では3万本に増え、竹灯笼以外にも、趣向を凝らしたオブジェが豆田地区一帯に展示されるようになりました。また、参加高校も3校から5校に増え、小学生も灯笼制作や勉強会に参加するようになりました。



趣向を凝らした竹オブジェ

4 前回受賞時からの活動の発展内容

千年あかりの活動が花月川から豆田町一帯、中城町（自治会主催の取り組み）へ広がりました。

若者の関心と参加を促し、「千年あかり」を持続的に発展させるため、市内5つの高校生によるシンポジウムを開催。実行委員と高校生が合同で「千年あかり」の魅力PR映像を作成しています。

喜びの声



受賞者

千年あかり実行委員会
実行委員長 財津 忠幸

コメント

この度は、平成27年度「手づくり郷土賞・大賞」に選定を戴き有難うございます。厚くお礼を申し上げます。

この「水郷日田」と呼ばれる日田市は水と緑の豊かな盆地です。その里山を守る竹伐採から始まり、その竹を利用した竹灯笼は、きれいな花月川の水面に映えて、日田市民の秋の風物詩となりました。

全ての企画から運営までを地元豆田地区の人々と市内の企業や団体のボランティアによって支えられています。この度の受賞をみんなで喜び、これからの励みにします。

活動内容

竹灯笼イベント開催、郷土振興・環境保全の高校生シンポジウム開催 など

活動の経緯

- 平成16年 設立
- 平成17年 第1回千年あかり実施
- 平成21年 手づくり郷土賞受賞

所在地

大分県日田市上野町76-1

活動主体及び連絡先

千年あかり実行委員会
(0973-23-2070)

対象となる社会資本

花月川及び日田市豆田地区
※管理者：日田市、
国土交通省九州地方整備局 筑後川河川事務所



手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集